

令和 3 年度 事業報告書

I 会 議

1 総 会

(1) 第 66 回通常総会 令和 3 年 6 月 28 日 書面決議

議 案

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について

第 2 号議案 令和 3 年度事業計画並びに収支予算の報告について

第 3 号議案 令和 3 年度会費について

第 4 号議案 令和 3 年度役員報酬について

第 5 号議案 役員補選について

2 理 事 会

(1) 第 1 回理事会 令和 3 年 6 月 11 日 仙台市・JA ビル宮城 10 階第 1 会議室

議 案

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について

第 2 号議案 令和 3 年度会費について

第 3 号議案 令和 3 年度役員報酬について

第 4 号議案 役員補選について

第 5 号議案 令和 3 年度通常総会の開催期日並びに提出議案について

報 告 事 項 1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）について
2) 令和 3 年度宮城県総合畜産共進会の開催について

(2) 第 2 回理事会 令和 3 年 7 月 21 日 書面決議

議 案

第 1 号議案 副会長の選定について

(3) 第 3 回理事会 令和 4 年 2 月 15 日 書面決議

議 案

第 1 号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の実施に係る積立金
管理者の指定について

(4) 第 4 回理事会 令和 4 年 3 月 14 日 仙台市・JA ビル宮城 10 階第 1 会議室

議 案

第 1 号議案 令和 3 年度事業計画並びに収支予算の変更について

- 第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算（案）について
- 第3号議案 令和4年度一時借入金最高限度額について
- 第4号議案 一般社団法人宮城県畜産協会 就業規則の一部改正について
- 第5号議案 一般社団法人宮城県畜産協会 給与規程の一部改正について
- 第6号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度における第2業務対象年間の事務委託先の承認について
- 第7号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る第2業務対象年間の事務手数料について
- 第8号議案 家畜死体冷却保管施設における舗装工事について
- 第9号議案 倉庫解体並びに設置について
- 報告事項 1) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（2万円事業）について
2) 養豚経営災害緊急支援対策事業について

3 監事会

- (1) 監事会 令和3年6月4日 宮城県畜産協会 会議室
- 監査事項 令和2年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告に関する監査

II 畜産経営支援対策事業

1 畜産経営技術高度化促進事業（宮城県：実績額 5,193,081円）

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れ生産性の高い畜産経営体の育成と指導者の養成を図り、経営体のレベルの向上と実態に応じた診断指導、調査等総合的な支援指導を実施し、畜産経営の安定と生産基盤の育成強化に努めた。

(1) 畜産経営支援指導研究会の開催

畜産経営技術指導を効果的かつ効率的に実施するため、畜産の実情に対応した将来の畜産経営指導の展開方向、具体的な指導内容・方法及び関係機関の機能分担等について検討協議するため、県及び関係団体をもって構成する総合委員会を書面開催した。

区 分	開 催 年 月 日	開催方法	委員数	内 容
総合委員会	令和4年3月22日	書面開催	12名	①令和3年度実績について ②令和3年度畜種別指導方針について ③宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画について

(2) 畜産コンサルタント団の設置

県及び畜産関係団体、学識経験者等幅広い分野の専門家をもって構成する畜産コンサルタント団を設置し、畜産経営体からの診断及び巡回指導要請に対応した指導を実施した。

畜産コンサルタント団設置の状況

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
2名	10名	22名

(3) 地域畜産経営体相談窓口指導

畜産経営体の支援指導を円滑に推進するため、日常的な経営体の状況把握・指導、地域における指導の連絡調整等指導相談の窓口を設置し、畜産経営体等からの延56件の相談・要請に対応した支援指導を実施した。

区 分	設置場所	担当地域
常 設	宮城県畜産協会 本 所	県一円
	宮城県畜産協会 仙南事業所	仙台、大河原管内
	宮城県畜産協会 中央事業所	大崎、石巻、登米、栗原管内
臨 時	みやぎ総合家畜市場（市場開設時）	県一円

(4) 畜産経営技術指導用機器の整備

畜産経営体の支援指導を効果的かつ効率的に実施するため、コンピューター等関連機器を整備した。

(5) 畜産経営技術支援指導

畜産経営体の要請に基づき、その経営水準、実態等に対応した診断指導を実施し、経営改善のための効果的な支援指導を実施した。

畜産経営技術の支援指導実施状況（個別指導）

経営区分	改善指導	経営管理 技術指導	フォローアップ 指 導	計	備 考
酪 農	1 件	13 件	11 件	25 件	
肉用牛	2 件	22 件	16 件	40 件	
養 豚	0 件	1 件	1 件	2 件	
養 鶏	0 件	0 件	0 件	0 件	
計	3 件	36 件	28 件	67 件	

(6) 情報提供体制事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係情報の提供を図るため、ネットワークの開設と各種情報のデータベースを構築し、畜産経営技術の高度化に対応した効率的な支援指導を実施した。

(7) 畜産経営セミナーの開催

肉用牛経営と養豚経営ける生産基盤の強化等を図るため、衛生飼養管理及び養豚経営の展望等をテーマにセミナーを開催した。

開催年月日	開催場所	参加人数	セミナーの具体的内容
令和3年8月6日	リモート会場 (仙台市青葉区) 一般会場 (大崎市古川)	68名 (内リモート参加者56名)	①「沖縄県における暑熱対策」 沖縄県食肉センター家畜診療所長 大城 守 氏 ②「豚への暑熱ストレスの影響と対策」 オアシス 代表 大井 宗孝 氏
令和4年3月4日	リモート会場 (仙台市青葉区) 一般会場 (大崎市古川)	62名 (内リモート参加者51名)	①「県内における豚熱対策の状況について」 宮城県家畜防疫対策室 技術補佐 石橋 拓英 氏 ②「世界の穀物需給と今後の展望」 宮城大学フードマネジメント学類 教授 三石 誠司 氏 ③「海外の豚肉相場の現状と今後の予測」 ㈲ブリッジインターナショナル 高橋 寛 氏
令和4年3月22日 ～ 5月31日	宮城県畜産協会のホームページで動画を公開		「牛伝染性リンパ腫感染対策の一手 ～初乳・移行乳～」 エランコジャパン(株) 富田 志織 氏

(8) 研修事業への参加

畜産経営指導事業並びに組織運営に必要な専門的知識及び技術の習得を図るため、中央畜産会等が主催する研修等に職員を派遣し、事業の円滑な推進に努めた。

開催年月日	開催場所	参加人員	研修内容
令和3年8月26日	仙台市 (リモート)	1名	海外畜産事情研修会【基礎編】
令和3年9月13日	仙台市 (リモート)	2名	畜産経営分析システム活用研修会
令和3年9月16日、 10月15日、11月9日	仙台市 (リモート)	1名	海外畜産事情研修会【実践編】

開催年月日	開催場所	参加人員	研修内容
令和3年10月5～8日	福島県	2名	中央畜産技術研修会（畜産新技術A・B）
令和3年10月26日	富谷市	1名	宮城県新任期職員研修会 畜産経営コンサルタントの概要・実務 について
令和3年11月12日	仙台市 (リモート)	1名	畜産クラスターコーディネーター養成研修 A・B
令和3年11月16日～19日	福島県	1名	中央畜産技術研修会 肉用牛（基礎）
令和3年11月19日	仙台市 (リモート)	1名	搾乳システムについて
令和3年12月10日	仙台市 (リモート)	2名	畜産クラスターコーディネーター養成研修 C
令和4年1月28日	仙台市 (リモート)	2名	牛の行動管理システム等について
令和4年3月18日	仙台市 (リモート)	4名	畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律について

2 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会：実績額 13,794,000円）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、研修会等の開催の制限はあったが、WEB利用等により可能な限り畜産農家の育成と経営の安定的発展を図るため、県並びに関係団体と連携の下に基幹職員を配置し、畜産経営指導並びに家畜改良指導及び畜産物消費拡大、馬事振興等の多岐に亘る業務を実施した。

- (1) 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図った。
- (2) 地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化を図った。
- (3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図った。

3 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会：実績額 3,865,070円）

畜産特別資金利子補給事業の円滑な実施を図るため、宮城県大家畜・養豚経営改善推進協議会を中心として、畜産特別資金借受者6戸（酪農2戸、肉用牛3戸、養豚1戸）の農家に対し巡回指導を実施した。

4 畜産機械施設貸付調査指導事業（畜産近代化リース協会：実績額 268,426円）

貸付事業の利用拡大を図るため、畜産経営者等に対し説明会を開催するとともに、機器の適正な管理状況を把握するため現地調査（1戸4機）を実施した。

5 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会：実績額 1,864,217円）

(1) 生産者組織整備

酪農生産者ネットワークの構築を進めると共に、牛群検定農家・検定員等指導者向けの指導資料「検定成績を活用した畜産試験場の取組【乳量編】」を作成・配布した。

(2) 畜産経営相談窓口整備

生産者及び関係機関からの各種相談に応じるため依頼先等へ出向き、畜産の振興を図ると共に、各種研修会等へ参加し役職員の知識の向上に努めた。

- 6 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（中央畜産会：実績額 88,000 円）
日本政策金融公庫資金の借入者 4 戸（肉用牛肥育）に対して、経営課題抽出及び借入後の計画作成支援等を実施し、借入金の円滑な償還と経営の安定化を支援した。
- 7 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）
（農畜産業振興機構：実績額 37,440,503 円）
肉用牛生産基盤の強化を図り、肉用牛の生産振興、生産性の向上を図る事業を支援するため、肉用牛生産集団等が行う事業に対し補助した。

区 分	事 業 内 容	農協・集団名
1 中核的担い手育成増頭推進	中核的担い手生産者が、増頭した繁殖雌牛への奨励金交付 (23 戸、55 頭)	みやぎ仙南、加美よつば、新みやぎ、みやぎ登米、いしのまき (計 5 集団)
2 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	地域の和牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入に対して奨励金交付 (44 戸、63 頭)	みやぎ仙南、名取岩沼、古川、新みやぎ、みやぎ登米、みやぎ農業振興公社 (計 6 集団)
3 優良繁殖雌牛導入支援	地域の和牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入に対して奨励金交付 (45 戸、57 頭)	みやぎ仙南、古川、新みやぎ、みやぎ登米、みやぎ農業振興公社 (計 5 集団)
4 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	増頭を要件とする簡易牛舎及び器具機材の整備 (パイプハウス牛舎等 3 棟)	全国農業協同組合連合会宮城県本部 (計 1 集団)
5 肉用牛ヘルパー推進	肉用牛ヘルパー活動の推進 (傷害保険料、ヘルパー利用料金)	みどりの和牛繁殖部会 JA 新みやぎ栗っこ肉用牛ヘルパー部会 みやぎ登米肉用牛ヘルパー部会 (計 3 集団)

- 8 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会：実績額 3,787,617 円）
牛肉の国内需要の増加と輸出拡大に対応するため、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業参加要望書や繁殖雌牛台帳の取りまとめ等を実施し、肉用牛の生産振興に資した。

農協・取組主体名	実績		
	戸数	頭数	金額
みやぎ仙南、仙台、古川、加美よつば、新みやぎ、みやぎ登米、いしのまき、宮城県域全肉協畜産クラスター協議会 (計 8 集団)	88 戸	476 頭	105,594,000 円

- 9 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査（中央畜産会：実績額 240,000 円）
畜産クラスターにおける中心的経営体の指標作成に資するため、優良畜産経営体 3 戸（酪農 1 戸、肉用牛繁殖 1 戸、肉用牛肥育 1 戸）の経営実態調査を実施した。
- 10 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務
（中央畜産会：実績額 4,016,863 円）
畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを行った。

宮城県内における事業参加要望書等の取りまとめ状況(未完了要望回次分)

(令和4年3月末現在)

要望調査回次	協議会数	項目	要望件数	申請書提出件数	実績報告書提出件数
平成30年第1回目	9 協議会	人数	170 人	153 人	142 人
		機械数	282 機	247 機	231 機
		補助金	449,978 千円	344,959 円	321,652 千円
令和元年第1回目	10 協議会	人数	125 人	110 人	101 人
		機械数	282 機	256 機	157 機
		補助金	308,157 千円	247,136 千円	212,145 千円
令和2年第1回目	9 協議会	人数	86 人	73 人	56 人
		機械数	149 機	130 機	86 機
		補助金	215,540 千円	168,369 千円	117,718 千円
令和3年第1回目	9 協議会	人数	63 人	59 人	7 人
		機械数	89 機	84 機	9 機
		補助金	159,494 千円	135,345 千円	15,569 千円
計	実 11 協議会	人数	延 444 人	395 人	306 人
		機械数	802 機	717 機	483 機
		補助金	1,133,169 千円	895,809 千円	667,084 千円

11 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策事業）

（中央畜産会：実績額 682,845 円）

肉用牛繁殖経営 8 戸（新規就農者 6 戸・後継者 2 戸）に対し、家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、生産性の向上を図った。

12 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）に係る事業推進業務

（中央畜産会：実績額 441,831 円）

畜産経営体生産性向上対策事業（通称：ICT事業）の機械導入の円滑な推進を図るため、畜産ICT応援会議を対象に事業説明会、事業参加要望書取りまとめ及び現地確認等を実施した。

機械導入状況（令和3年度）

ICT 応援会議	経営体数	導入機械	機械価格 (税抜)	補助金額	
みやぎの酪農協 畜産クラスター 協議会	3 戸	餌寄せロボット	1 機	31,384 千円	15,692 千円
		搾乳ロボット	1 機		
		発情発見装置	1 機		
		(計 3 機)			

13 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業に係る事業推進業務

（中央畜産会：実績額 776,431 円）

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（通称：楽酪GO事業）の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議を対象に事業説明、事業参加要望書取りまとめ等を実施した。

機械導入状況（令和3年度）

楽酪応援会議	経営体数	要望内容	機械価格 (税抜)	補助金額
いしのまき 楽酪応援会議	1戸	搾乳ユニット搬送レール手動 1機 ミルカー自動離脱装置 5機 (計6機)	8,750千円	4,375千円

14 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）

(中央畜産会：実績額 3,221,333円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、牛肉価格が下落し、肉用牛肥育経営体の経営悪化が危惧されるため、経営体質強化を図る取組を実施した経営体に対して令和3年3月販売分までの奨励金を交付することにより経営継続を支援した。

年度	事業参加者	頭数	奨励金単価	交付金額
令和2年度分	662戸	15,003頭	20,000円	300,060,000円
令和3年度分		4,860頭	20,000円	97,200,000円

15 肥育牛経営改善等緊急支援対策事業（肥育牛経営等緊急支援特別対策事業）

(中央畜産会：実績額 4,034,984円)

新型コロナウイルス感染症の影響により牛肉価格が下落し、肉用牛肥育経営体の経営悪化が危惧されるため、その経営体質強化を図る取組を実施した経営体に対して令和3年4月から5月販売分の肥育牛に対して奨励金を交付した。

事業参加者	頭数	奨励金単価	交付金額
462戸	3,131頭	20,000円	62,620,000円

16 養豚経営災害緊急支援対策事業（経営継続支援対策）

(農畜産業振興機構：実績額 3,768,760円)

降雪による被害を受けた養豚経営者に対して、経営継続を支援するため修繕等に係る費用の一部を補助した。

農場所在地	戸数	事業内容	補助金交付金額
加美町	1戸	ハウス豚舎4棟、 給餌ライン等	3,460,000円

17 養豚経営災害緊急支援対策事業（非常用電源の整備）

(農畜産業振興機構：実績額 1,654,399円)

災害等による停電時の電源を確保するため、発電機等の導入経費の一部を補助した。

農場所在地	戸数	事業内容	補助金交付金額
栗原市	1戸	非常用発電機1基	1,300,000円

Ⅲ 家畜衛生対策事業

1 特定疾病自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 114,175,715 円）

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、地域ぐるみで予防接種を推進し、伝染病発生による損耗防止に努めた。

予防接種の種類	地域別接種頭数（頭）						合計
	仙南	中央	大崎	栗原	登米	石巻	
(1) 豚丹毒ワクチン（生）	1,859	0	0	5,286	10,950	0	18,095
(2) 豚丹毒ワクチン（不）	22,774	0	0	0	0	0	22,774
(3) 豚日本脳炎ワクチン（不）	0	0	0	0	0	0	0
(4) 豚三種混合ワクチン（生）	164	15	129	11	82	58	459
(5) 豚伝染性胃腸炎・流行性下痢混合ワクチン（生）	0	0	0	0	10	0	10
(6) アカバネ病ワクチン（生）	2,280	1,545	7,962	3,137	5,311	1,145	21,380
(7) 牛五種混合ワクチン（生）	1,273	1,051	5,088	2,963	4,721	1,002	16,098
(8) 牛ヘモフィルスワクチン（不）	1,199	938	4,691	2,946	4,533	929	15,236

2 自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 3,416,687 円）

自衛防疫事業を円滑に推進するため、自衛防疫推進会議等を開催し、家畜衛生に関する知識の普及や情報の収集・伝達に努めた。

(1) 家畜自衛防疫推進会議等の開催状況

名称	場所	開催回数	出席人数	備考
① 家畜自衛防疫推進会議	仙台市内	3回	65人	県、家畜保健衛生所職員等
② 家畜衛生専門委員会	〃	1回	18人	県、家畜保健衛生所長等

(2) 指定獣医師定例会の開催状況

地域名	場所	開催回数	出席人数	内容
大崎	大崎市	1回	15人	① 令和2年度 特定疾病自衛防疫推進事業実績 ② 令和3年度 特定疾病自衛防疫推進事業計画及び進捗状況 ③ 最近の家畜衛生情報 ④ 子牛市場成績 等
栗原	栗原市	1回	11人	
登米	登米市	1回	11人	
石巻	石巻市	1回	13人	
合計		4回	50人	

(3) 家畜自衛防疫事業推進事務交付金交付実績

交付先	交付金額	備考
市町村（28）	450,300円	アカバネ病等：注射負担金額×1%以内
農業協同組合（9）	557,900円	牛五種混合等：注射負担金額×1%以内
計	1,008,200円	

(4) 予防接種事故見舞金交付件数

予防接種の種類	畜種	交付件数
牛五種混合	肉用牛	1 件
牛ヘモフィルス(不)	肉用牛	4 件
合 計		5 件

3 家畜生産農場衛生対策事業 (農林水産省：実績額 10,422,758 円)

牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため、牛伝染性リンパ腫の検査及び高度感染牛の淘汰の取り組みを支援した。

区 分	戸 数	頭 数
① 共同放牧場等における対策 (抗体検査)	127 戸	778 頭
② 対策実施農場における対策 (抗体検査)	2 戸	46 頭
③ 対策実施農場における対策 (淘汰)	1 戸	4 頭

4 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (農林水産省：実績額 13,720,186 円)

我が国の牛海綿状脳症 (BSE) 対策の有効性を監視し、生産者や消費者の安心と信頼を確保維持するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく、96 カ月齢以上の死亡牛等の全頭検査を実施した所有者等に対し、管理・輸送・処理に係る経費を補助し、BSE 検査の円滑な推進に努めた。

また、県家畜防疫対策室、家畜保健衛生所、県域団体、死亡牛収集運搬業者等で構成する宮城県死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会を開催し、死亡牛の円滑な収集運搬及び処理のための取組と良好な家畜衛生並びに環境の維持を図り、畜産の健全な発展に努めた。

(1) 死亡牛検査処理安定対策

区 分	補助対象頭数 及び 単価			金 額
	県北地域	県南地域	計	
① 輸送促進費	382 頭	141 頭	523 頭	県北地域： 1,719,000 円 県南地域： 564,000 円
② 適正処理費	382 頭	0 頭	382 頭	県北地域： 2,865,000 円
合 計				5,148,000 円

* 補助対象外頭数：6 頭 (県北：6 頭、県南 0 頭)

(2) 死亡牛検査支援対策

区 分	補助対象頭数			単 価	金 額
	県北地域	県南地域	計		
BSE 検査費補助	381 頭	141 頭	522 頭	7,400 円	3,862,800 円

* 補助対象外頭数：7 頭 (県北：7 頭、県南：0 頭)

5 畜産物衛生環境整備円滑化事業（協会事業、宮城県：実績額 6,807,548 円）

県内で発生する死亡家畜の処理を円滑かつ効率的に推進するため、一時保管する家畜死体冷却保管施設及び家畜死体冷凍運搬車の利用について、死亡牛輸送業者 3 社及び関係者と協議し、家畜疾病のまん延防止を図り、家畜飼養衛生環境の保全に努めるとともに、老朽化に伴う施設の修繕・改修等の工事を行った。

また、96 カ月齢以上の死亡牛等の BSE 全頭検査の採材場所として「宮城県死亡獣畜取扱施設」を利用し、県が実施する検査の円滑な推進を支援した。

(1) 家畜死体冷却保管施設利用頭数

区分	牛	豚	馬	綿羊・山羊等	計
頭数 (頭)	4,557	8,685	8	31	13,281
重量 (t)	1,367.10	781.65	3.2	2.64	2,154.59

(2) 死亡獣畜取扱施設の利用頭数

畜種	取扱頭数	取扱対象牛	BSE 検査結果
牛	387 頭	96 カ月齢以上の死亡牛等	全頭陰性

(3) 家畜死体冷凍運搬車利用頭数

畜種	利用頭数	利用対象牛	BSE 検査結果
牛	141 頭	96 カ月齢以上の死亡牛等	全頭陰性

(4) 施設の修繕・改修等

区分	月	修繕・改修工事等
家畜死体冷却保管施設	6 月	高圧洗浄機の修繕
	2 月	吊り下げフックの交換
	3 月	挟み込み防止装置の修繕
	3 月	アスファルト補修工事
家畜死体冷凍運搬車	4 月	ドライブレコーダーの取付
	11 月	車両エバポレーターの修繕

6 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会：実績額 6,659,634 円）

(1) 地域自衛防疫推進事業

地域での伝染病発生時の対応等を支援するため、伝染性疾病の発生に備えた防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取り組みの啓発等の検討を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防等防疫措置の徹底に努めた。

区分	開催月日	開催場所	人数	備考
防疫演習 (計 5 回)	令和 3 年 8 月 25 日	登米市東和町	98 名	生産者、市町村、農協・畜産団体、建設業協会、警察、県職員（畜産課、家保、農業関係、土木、一般職員等） (延べ 472 名)
	令和 3 年 10 月 26 日	黒川郡大和町	135 名	
	令和 3 年 11 月 2 日	大崎市古川	63 名	
	令和 3 年 11 月 4 日	柴田郡大河原町	81 名	
	令和 3 年 11 月 16 日	柴田郡大河原町	95 名	

(2) 地域農場HACCP認証支援事業

県内における農場HACCP認証に取り組む農場及び認証取得農場が継続的改善を図ることに対し、専門家による構築指導等を行い、地域に農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図った。

区 分	実 績	備 考
構築指導意見交換	4 戸	肉用牛：1 農場 養 豚：1 農場 養 鶏：2 農場
構築指導	1 戸	乳用牛：1 農場

7 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会：実績額 122,202 円）

馬飼養形態の集団化、大規模化及び頻繁な移動等の実態を踏まえ、生産地の繁殖牝馬について予防接種（馬三種混合及び馬インフルエンザ）の徹底を図った。

ワクチンの種類	接種戸数	接種頭数
馬三種混合ワクチン（1歳補強）	1 戸	1 頭(延べ2頭)
馬インフルエンザワクチン（繁殖牝馬）	3 戸	6 頭

8 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会：実績額 1,034,074 円）

馬生産地における伝染性疾病の防疫強化を図るため、馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬を対象とした馬インフルエンザワクチン接種及び軽種馬等の繁殖牝馬を対象とした馬鼻肺炎ワクチン接種を推進した。

(1) 馬防疫強化地域推進対策事業

区 分	開催期日	開催場所	出席人数
地域推進対策会議	令和3年5月13日	仙台市	26名
	令和4年3月8日		21名

(2) 馬ワクチン接種推進事業

ワクチンの種類	対象馬	接種戸数	接種頭数
馬インフルエンザワクチン	競走馬以外の乗用馬	5 戸	82 頭(延べ164頭)
馬鼻肺炎ワクチン	繁殖牝馬	1 戸	1 頭(延べ 2 頭)

9 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会：実績額 3,274,239 円）

口蹄疫や豚熱等の越境性動物疾病が発生した場合、生産者による自主的な互助制度により生産者が飼養する牛及び豚の淘汰に伴う畜産経営への影響を緩和するため、各関係者と連携を図り、本制度の普及啓蒙を図った。

特に、最近、中国や台湾において口蹄疫等が継続的に発生しており、国内への病原体の侵入が懸念されるので、事務委託先等を通じて未加入者の加入を推進した。

(1) 事業実施期間：令和3年度～令和5年度（3年間）

(2) 事務委託先：農協及び酪農団体等 13 団体

(3) 契約状況 (令和4年3月31日現在)

畜種	契約戸数	契約頭数	積立金額
① 乳用牛	2,494戸	18,023頭	3,658,615円
② 肉用牛		75,518頭	11,880,575円
小計(①+②)		93,541頭	15,539,190円
③ 豚	59戸	176,657頭	24,255,055円
合計	2,553戸	270,198頭	39,794,245円

10 獣医師養成確保修学資金給付事業 (農林水産省：実績額 4,142,590円)

産業動物獣医師を志す者2名に対し、獣医師養成確保修学資金を給し、有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図り、宮城県産業動物の診療体制の整備と畜産振興に寄与した。

給付者	給付額
酪農学園大学 2年生	180,000円/月
鹿児島大学 5年生	100,000円/月

IV 家畜価格安定対策事業

1 肉用子牛生産者補給金制度 (農畜産業振興機構)

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に生産者に対し生産者補給金を交付するため生産者積立金を造成し肉用子牛生産の安定を図った。

(令和4年3月31日現在の契約生産者は 2,423戸)

(1) 生産者積立金の造成 (実績額 47,019,600円)

生産者、宮城県、国の三者が1:1:2の割合で生産者補給金の交付に備え、生産者積立金を造成した。

令和3年度生産者積立金造成対象期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日

品種区分		契約頭数 (頭)	積立金 単価 (円)	積立額 (円)	負担区分 (円)		
					生産者	宮城県	農畜産業振興機構
黒毛和種	1月1日～ 12月31日	18,660	1,600	29,856,000	7,464,000	7,464,000	14,928,000
褐毛和種	1月1日～ 12月31日	27	6,000	162,000	40,500	40,500	81,000
その他の 肉専用種	1月1日～ 12月31日	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	1月1日～ 12月31日	680	6,800	4,624,000	1,156,000	1,156,000	2,312,000
交雑種	1月1日～ 12月31日	3,868	3,200	12,377,600	3,094,400	3,094,400	6,188,800
合計		23,235	—	47,019,600	11,754,900	11,754,900	23,509,800

(2) 肉用子牛生産者補給金の交付実績 (実績額 0円)

令和3年度は、黒毛和種、褐毛和種、乳用種、交雑種において、四半期毎平均売買価格が保証基準価格を下回らず発動はなかった。

なお、その他の肉専用種において、第4・四半期に発動があったが、契約生産者がいないため交付はなかった。

参考：保証基準価格・合理化目標価格・平均売買価格

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買 価 格	第1・四半期	756,000	666,300	-	246,300	339,000
	第2・四半期	720,400	600,500	-	245,300	326,900
	第3・四半期	738,100	659,800	-	237,600	315,400
	第4・四半期	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400

※ 311,800 は発動あり。

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (農畜産業振興機構)

(1) 運営適正化事業 (実績額 21,559,514円)

補給金制度の適正かつ円滑な運営を図るため業務推進会議の開催、事務委託先及び契約生産者に対し調査・指導を実施し、本制度加入の促進及び個体登録業務等の正確かつ迅速化に努めた。また、全国の品種別平均売買価格の算定に資するため、みやぎ総合家畜市場の肉用子牛取引情報を収集し(独)農畜産業振興機構へ毎月報告した。

(2) 運営体制支援事業 (実績額 13,565,241円)

肉用子牛生産者補給金制度を適正かつ円滑に実施するため、指定協会の運営体制の強化を図った。

3 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)

肉用牛の枝肉価格が低落し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に差額分の9割を交付するため、生産者積立金を造成し、肥育経営の安定を図った。

令和3年度における品種別交付頭数は、肉専用種5,745頭、交雑種1,443頭、乳用種29頭、合計7,217頭となり、341戸に対して農畜産業振興機構交付金と肉用牛肥育安定基金取崩し額を合せて146,319,635円を交付した。

なお、新型コロナ対策として令和2年4月から令和3年5月まで生産者負担金は納付猶予(実質免除)となり、猶予対象となった肥育牛は国費分(3/4)のみの交付となった。

また、肉専用種の地域基金が枯渇した事により、令和2年5月販売分から国費分のみの交付となったが、令和3年6月から積立再開により負担金納付牛は、全額交付となった。

(1) 推進事務費 (実績額 15,526,000円)

(2) 肉用牛肥育安定基金の造成 (実績額 97,941,000円)

令和3年度造成対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

品 種 区 分	生産者積立金			備考
	造成頭数(頭) ①	単価(円) ③	造成額(円) ③=①×②	
肉専用種	13,321	5,000	66,605,000	
	(2,961)	0	0	
	16,282		66,605,000	
交 雑 種	2,391	13,000	31,083,000	
	(483)	0	0	
	2,874		31,083,000	
乳 用 種	23	11,000	253,000	
	(6)	0	0	
	29		253,000	
合 計	15,735		97,941,000	
	(3,450)		0	
	19,185		97,941,000	

注) () 内は、生産者負担金の納付猶予牛

(3) 令和3年度肥育牛交付金交付実績総括表

販売月	品種区分	交付対象				肥育牛交付金			
		人数 (人)	頭数(頭)			単価 (円) ④	金額(円)		
			内 訳		計 ③= ①+②		内 訳		計 ⑤+⑥
			通常 ①	猶予 ②			通常 ⑤÷ ①×④	猶予 ⑥÷②× (④×3/4)	
令和3年 1月 (精算払)	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	12	5	220	225	3,353.8	16,769	553,376	570,145
	乳用種	1	0	2	2	3,495.1	0	5,243	5,243
	計	13	5	222	227		16,769	558,619	575,388
2月	肉専用種	242	0	1,111	1,111	3,123.0	0	2,602,146	2,602,146
	交雑種	15	9	126	135	82,541.7	742,874	7,800,176	8,543,050
	乳用種	1	0	1	1	48,483.9	0	36,362	36,362
	計	258	9	1,238	1,247		742,874	10,438,684	11,181,558
3月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	15	16	156	172	26,658.9	426,543	3,119,077	3,545,620
	乳用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	計	15	16	156	172		426,543	3,119,077	3,545,620
4月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	乳用種	2	0	4	4	35,362.8	0	106,086	106,086
	計	2	0	4	4		0	106,086	106,086

販売月	品種区分	交付対象				肥育牛交付金			
		人数 (人)	頭数(頭)			単価 (円) ④	金額(円)		
			内 訳		計 ③= ①+②		内 訳		計 ⑤+⑥
			通常 ①	猶予 ②			通常 ⑤≒ ①×④	猶予 ⑥≒②× (④×3/4)	
5月	肉専用種	231	0	1,051	1,051	11,428.2	0	9,008,184	9,008,184
	交雑種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	乳用種	2	0	3	3	21,505.5	0	48,386	48,386
	計	233	0	1,054	1,054		0	9,056,570	9,056,570
6月	肉専用種	246	23	1,231	1,254	26,019.9	598,457	24,022,683	24,621,140
	交雑種	10	5	146	151	26,485.2	132,426	2,900,121	3,032,547
	乳用種	1	0	1	1	29,786.4	0	22,339	22,339
	計	257	28	1,378	1,406		730,883	26,945,143	27,676,026
7月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	14	22	133	155	40,140.9	883,100	4,004,043	4,887,143
	乳用種	2	0	2	2	33,510.6	0	50,264	50,264
	計	16	22	135	157		883,100	4,054,307	4,937,407
8月	肉専用種	252	94	1,012	1,106	64,325.7	6,046,612	48,822,984	54,869,596
	交雑種	13	8	181	189	61,515.0	492,120	8,350,657	8,842,777
	乳用種	3	0	6	6	29,024.1	0	130,608	130,608
	計	268	102	1,199	1,301		6,538,732	57,304,249	63,842,981
9月	肉専用種	248	148	1,075	1,223	19,970.1	2,955,569	16,100,774	19,056,343
	交雑種	13	9	176	185	20,589.3	185,303	2,717,778	2,903,081
	乳用種	0	0	0	0	35,327.7	0	0	0
	計	261	157	1,251	1,408		3,140,872	18,818,552	21,959,424
10月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	10	19	212	231	17,713.8	336,563	2,816,485	3,153,048
	乳用種	1	1	3	4	22,146.3	22,147	49,828	71,975
	計	11	20	215	235		358,710	2,866,313	3,225,023
11月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	乳用種	1	1	2	3	33,033.6	33,033	49,550	82,583
	計	1	1	2	3		33,033	49,550	82,583
12月	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	乳用種	1	1	0	1	40,420.8	40,420	0	40,420
	計	1	1	0	1		40,420	0	40,420
令和4年 1月 (概算払)	肉専用種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	乳用種	1	2	0	2	45,274.8	90,549	0	90,549
	計	1	2	0	2		90,549	0	90,549
合計	肉専用種	1,219	265	5,480	5,745		9,600,638	100,556,771	110,157,409
	交雑種	102	93	1,350	1,443		3,215,698	32,261,713	35,477,411
	乳用種	16	5	24	29		186,149	498,666	684,815
	合計	1,337	363	6,854	7,217		13,002,485	133,317,150	146,319,635

(4) 緊急支援金等返還業務

緊急支援金等交付対象者のうち未返還者 4 戸に対し返還請求書を発行し、農畜産業振興機構への返還業務を実施した。

①緊急支援金等交付実績

資金名	対象者数(戸)	交付頭数(頭)	交付金額(円)
緊急支援金	501	37,026	1,851,300,000
出荷遅延支援金	315	7,958	5,758,440,000
価格低下支援金	61	510	79,630,000
計	実 524(延べ 877)	45,494	7,689,370,000

②返還額(生産者からの返還額)

(令和4年3月31日現在)

資金名	返還済額(円)			未返還額(円)
	平成23~令和2年度	令和3年度	計	
緊急支援金	1,851,300,000	0	1,851,300,000	0
出荷遅延支援金	5,739,350,000	4,150,000	5,743,500,000	14,940,000
価格低下支援金	79,630,000	0	79,630,000	0
預り金	2,199,117	▲933,484	1,265,633	▲1,265,633
計	7,672,479,117	3,216,516	7,675,695,633	13,674,367
未返還者からの 受取利息 (H27年10月から)	3,245,592	27,984	3,273,576	

4 肉豚経営安定交付金制度(農畜産業振興機構:実績額 31,389円)

肉豚経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、養豚事業者等からの問い合わせに随時対応した。

5 肉豚経営安定交付金制度(生産者委託:実績額 913,050円)

肉豚経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、養豚生産者14戸との事務委託契約に基づき、書類申請及び関係書類保管等に関する助言指導等を実施し、養豚経営の安定に資した。

6 肉牛事故共助推進事業(全農宮城県本部:実績額 58,785,878円)

肉用牛生産者並びに出荷者団体からなる基金を造成し、全農宮城県本部が販売する肉牛に発生する事故に対しその損害を補償し、肉牛経営の安定を図った。

(1) 肉牛事故共助推進事業費(実績額 1,012,129円)

(2) 肉牛事故共助金(実績額 57,773,749円)

品種	頭数	金額
肉専用種	820	56,600,837
乳用種	28	967,297
交雑種	1	205,615
計	849	57,773,749

(3) 肉牛事故共助積立基金

(単位：円)

令和2年度繰越額 A	受取積立額 B	受取利息 C	交付額 D	令和3年度基金残高 A+B+C-D
26,633,165	64,536,135	268	57,773,749	33,395,819

V 家畜改良対策事業

1 家畜人工授精用精液流通調整事業 (協会独自事業：実績額 184,645,527円)

本県の家畜改良を円滑に推進し、乳牛及び和牛の生産拡大を図るため、宮城県畜産試験場繋養の種雄牛を主体に、県内7ヶ所のサブセンターにおいて、家畜人工授精師等に対し凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、計画的交配の指導を実施し、家畜の改良増殖の推進と畜産経営の安定と発展に資した。

凍結精液供給本数

和 牛			乳 牛	液体窒素
県有牛	事業団等	計	事業団等	
27,345本	8,207本	35,552本	3,715本	41,037kg

2 宮城県総合畜産共進会 (協会独自事業：実績額 232,239円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により開催を中止した。

3 種豚登録関連事業 (日本養豚協会：実績額 799,260円)

近年の養豚生産構造の変化に対処するため、登録関連制度の普及啓蒙と質的向上を図るため登録対象豚の選抜並びに適正な登録事業を推進した。

また、交配品種の多様化に伴う素豚の品質低下を防止するため、一代雑種豚血統証明等を含めた種豚登録事業を推進した。

登記・登録実績

(件)

区 分	種豚 登録	一腹 記録	子豚 登記	一代雑種豚 血統証明	各 種 移動証明	系統種豚 証明
実 績	183	135	376	97	88	4

4 乳用牛群検定普及定着化事業 (宮城県：実績額 198,999円)

牛群検定加入者の推進を図るため、4名に検定推進員を依頼し、県内の非検定農家を対象に推進を行うとともに、併せて既検定農家へ巡回指導を行った。

(非検定農家推進戸数 4戸、既検定農家巡回指導 3戸)

5 乳用種雄牛後代検定事業 (家畜改良事業団：実績額 114,114円)

遺伝的に優れた能力を有することが証明された種雄牛(検定済種雄牛)を計画的に作出し、広域的な利用を行う精液の保管と配布を行った。(調整交配配布本数 546本)

VI その他

1 専門委員会

家畜衛生事業、和牛改良事業の推進に係る懸案事項について検討するため、各専門委員会を設置し事業の円滑な推進を図った。

2 褒賞の授与

畜産に関する各種共進会、共励会において成績優秀な者に対し褒賞を授与した。

3 畜産普及広報活動

(1) 県内の畜産情報並びに技術の普及拡大を図るため、「畜産みやぎ」を年6回発行した。

(2) 月刊「畜産コンサルタント」誌並びに指導資料を配布し、畜産技術の普及啓蒙を図った。

4 令和3年度役職員の異動状況

(1) 役員の状況

区分	令和3年度当初	辞任	退任	就任	令和4年度当初
理事	14	1	0	1	14
監事	3	0	0	0	3
計	17	1	0	1	17

辞任理事：江畑 正徳

就任理事：金須 豊洋

(2) 職員の状況

区分	令和3年度当初	令和4年度当初	増減(△)
正職員	13	13	0
再雇用者	7	6	△1
嘱託職員	1	3	2
臨時職員	10	10	0
計	31	32	1

5 会 員 名 簿

(令和4年3月31日)

会 員 名		会 員 名	
1	宮城県	32	松 島 町
2	宮城県農業協同組合中央会	33	利 府 町
3	全国農業協同組合連合会宮城県本部	34	大 和 町
4	宮城県農業共済組合	35	大 郷 町
5	みやぎの酪農農業協同組合	36	大 衡 村
6	(公社)みやぎ農業振興公社	37	加 美 町
7	(一社)宮城県配合飼料価格安定基金協会	38	色 麻 町
8	(公社)宮城県獣医師会	39	涌 谷 町
9	宮城県牛乳協会	40	美 里 町
10	宮城県家畜商協同組合	41	南 三 陸 町
11	仙 台 市	42	みやぎ仙南農業協同組合
12	白 石 市	43	みやぎ亘理農業協同組合
13	角 田 市	44	名取岩沼農業協同組合
14	岩 沼 市	45	仙台農業協同組合
15	名 取 市	46	古川農業協同組合
16	大 崎 市	47	加美よつば農業協同組合
17	栗 原 市	48	新みやぎ農業協同組合
18	登 米 市	49	みやぎ登米農業協同組合
19	気 仙 沼 市	50	いしのまき農業協同組合
20	石 巻 市	51	宮城県酪農農業協同組合
21	東 松 島 市	52	(公社)全国和牛登録協会宮城県支部
22	富 谷 市	53	宮城県家畜人工授精師協会
23	蔵 王 町	54	宮城県ホルスタイン協会
24	七ヶ 宿 町	55	(株)宮城県食肉流通公社
25	大 河 原 町	56	仙台中央食肉卸売市場(株)
26	村 田 町	57	プライフーズ(株)宮城農場
27	柴 田 町	58	(株)シムコ岩出山事業所
28	川 崎 町	59	農事組合法人 高清水養豚組合
29	丸 森 町	60	(株)サイボクファーム
30	亘 理 町	61	農事組合法人 しわひめスワイン
31	山 元 町	62	(株)栗原農場